



ディーゼル機関の発展と  
世界の発展を目指して。

# ともえ精工株式会社



ともえ精工株式会社

長崎県諫早市本明町2307-2  
TEL/0957-25-9016  
FAX/0957-25-9015  
HP/https://tomoesk.co.jp/

代表取締役/森本寛充  
設立/1965年6月24日  
資本金/10,000,000  
業種/非鉄金属製造業  
従業員数/45名



昭和23年、中国北京市にて創立。発足当時は発電用タービン、ディーゼルエンジンの設置、満州鉄道の機関車両などの製造、補修等を行っていた。現在は船舶用ディーゼルエンジンの主要部品(5品目)を中心に、陸上発電機用主要部品等を製造している。長きにわたって低速ディーゼルエンジンの製造に携わっており、その確かな技術力を武器に近年は船舶用にこだわらず、特殊鋼をはじめとする様々な高精度の製品製造も行っている。

## 事業のテーマ

### 次世代大型旋盤機導入と 当社独自の技術融合による生産性向上

## 事業のきっかけ

大型軸部品の高精度表面仕上げ加工を含む精密加工を行っているが、従来の旋盤では加工能力が不足し、高精度表面仕上げ加工工程の段取り替えという課題があった。

## 事業内容・成果

今回導入した「CNC旋盤」には3つの効果がある。1つは製品を移動する送り速度が従来の2倍であること。2つ目は高剛性構造のためベッド精度の長時間維持が保てること。これにより芯間支持質量が通常10tのところ、さらに15tに耐え

ることができ、より重量な製品の受注が可能になった。3つ目は機械操作の効率化。従来の旋盤ではNCプログラムによる効率的な機械と、コンピューターでは手の届かない職人技といえる丁寧な手動加工の両方を操作することはできなかったが、CNC旋盤ではそれが可能になった。

さらに当社独自で開発したユニット研磨機を追加で取り付けることにより、旋盤加工から研磨加工までを1台でスムーズに行えるようになった。その結果、高精度な加工仕上がりに加え、作業時間がおよそ半分に削減できた。

## 今後の展望

技術の向上はもちろんのこと、今後は人材育成に力を入れていきたい。現在、外国人2人を正社員として雇用しているが、今後はさらに増やす予定。彼らに技術を継承することで将来、海外に工場を建て、製品を逆輸入したり、ヨーロッパに展開したりするなど、志の高い外国人を雇用することに様々な可能性を感じている。

## ものづくり補助金活用

